

JIS

素地調整用ブラスト処理方法通則

JIS Z 0310 : 2016

(JACC/JSA)

平成 28 年 3 月 22 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 化学・環境技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	田 中 龍 彦	東京理科大学
(委員)	今 井 勇	一般社団法人日本ゴム工業会
	大 石 奈津子	一般財団法人日本消費者協会
	大 石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	大 野 香 代	一般社団法人産業環境管理協会
	嘉 藤 鋭	独立行政法人住宅金融支援機構
	倉 品 秀 夫	公益社団法人自動車技術会
	小 森 亨 一	一般社団法人日本分析機器工業会
	斉 藤 良	日本プラスチック工業連盟
	四角目 和 広	一般財団法人化学物質評価研究機構
	高 津 章 子	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	高 橋 俊 哉	一般社団法人日本塗料工業会
	田 和 健 次	石油連盟
	中 島 眞 理	株式会社ブリヂストン
	中 村 優	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
	野 中 玲 子	一般社団法人日本化学工業協会
	保 倉 明 子	東京電機大学
	松 永 直 樹	拓殖大学
	森 川 淳 子	東京工業大学
	山 崎 初 美	主婦連合会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 7.4.1 改正：平成 28.3.22

官 報 公 示：平成 28.3.22

原 案 作 成 者：一般社団法人日本防錆技術協会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3434-0451)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：化学・環境技術専門委員会 (委員長 田中 龍彦)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	4
4 ブラスト処理方法の種類	5
5 ブラスト処理方法の原理	5
5.1 乾式ブラスト処理方法	5
5.2 湿式ブラスト処理方法	7
6 研削材	9
6.1 材料及び種類	9
6.2 健康及び安全	9
6.3 研削材の選択及び検討	10
7 ブラスト処理前の検討事項	10
8 施工方法	11
8.1 ブラスト処理前の検査及び処置	11
8.2 ブラスト処理	11
8.3 ブラスト処理後の処置及び検査	12
8.4 施工管理者	12
9 ブラスト処理面の評価	12
10 ブラスト処理の表示	12
附属書 JA (規定) ブラスト処理方法の応用	13
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	14
解 説	17

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本防錆技術協会（JACC）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS Z 0310:2004** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

素地調整用ブラスト処理方法通則

Abrasive blast-cleaning methods for surface preparation

序文

この規格は、2000年に第2版として発行されたISO 8504-1及び2000年に第2版として発行されたISO 8504-2を基とし、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

この規格では、旧規格に対して、**附属書 JA**（ブラスト処理方法の応用）を新たに追加している。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JB**に示す。

1 適用範囲

この規格は、防せい（錆）防食を目的として鋼材に塗料及び関連製品を被覆する場合に、それらの被覆前に鋼材の素地調整をするために行うブラスト処理方法について規定するとともに、使用する研削材、並びに処理面の試験及び評価方法に関する基本的事項を規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 8504-1:2000, Preparation of steel substrates before application of paints and related products—
Surface preparation methods—Part 1: General principles

ISO 8504-2:2000, Preparation of steel substrates before application of paints and related products—
Surface preparation methods—Part 2: Abrasive blast-cleaning（全体評価：MOD）

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

警告 ブラスト処理に用いる機材は不注意に扱うと作業者に危険を生じる場合がある。特に作業者が直接ブラスト作業を行うエアブラスト装置に関しては、ブラスト処理中における作業者の安全に問題が生じたときには、作業者の意思と無関係に、エアブラスト装置が停止する安全装置などの対策を講じる必要がある。また、圧力容器本体、接続継手、接続ホース、接続ノズル及び研削材流量調整バルブの日常点検、並びに長期間使用しない場合の保管場所にも十分留意しなければならない。ブラスト処理作業によって発生する粉じん（塵）、剝離物、及び混合された水分から作業者及び周辺環境に関しての安全衛生面及び環境汚染に留意する必要がある。したがって、実施に当たっては、適切な準備及び管理が必要である。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS Z 0103 防せい防食用語